

図書館だより 1月



ワシントン日本語学校図書館 (tosh@wils.org)
開館時間 9時～4時

令和6年1月号



新春、新しい冒険のはじまり！

あけましておめでとうございます。みなさんは冬休みをどのように過ごしましたか。「一年の計は元旦にあり」といいますが、今年はどんな計画、目標をたてましたか？毎日その目標に向かって少しずつでも努力する、そんな1年になりますように。

新しい年が始まり、冬の寒さも一層厳しくなりましたが、図書館では温かな本の世界が広がっています。寒い日にはぜひ図書館に足を運んで、心温まる物語に触れてみてください。今年もたくさんの本と出会い、発見したり、感動したり考えたりと心ゆたかに過ごしたいですね。

人気シリーズ貸出についてのご案内

「かいけつゾロリ」「サバイバル・タイムワープ」「発明/実験対決」「漫画」については、学年関係なく生徒それぞれ1人1冊まで借りることができます。放課後、対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。限られた本をより多くの生徒に利用してもらいたい為、皆様のご協力をお願いいたします。



など

12月人気ランキング

児童書シリーズ



おばけずかん / 斉藤洋
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 / 廣嶋玲子



5分後に意外な結末 / 桃戸ハル
おしりたんてい / トロル



逃走中 オリジナルストーリー / 集英社
10歳までに読みたい日本名作 / 学研

作家



朝井リョウ



東野圭吾



町田そのこ・風良ゆう

絵本シリーズ



「ノラネコぐんだん」シリーズ



「パンどろぼう」シリーズ



「おたすけこびと」シリーズ

12月の貸出状況

貸出利用者
生徒 559人
保護者 303人

貸出冊数 2,717冊

冬休み前に
借りた本は
6日にすべて
忘れずに返却して
ください。

今月の 特集

2024年の干支は「辰（たつ）」です。辰年は「竜（りゅう）」の年とされ竜は力強さ、知恵、幸運を象徴しており、辰年生まれの人には幸運や成功をもたらすと信じられています。竜にまつわる伝説やお話には、かわいらしい竜から、一緒に冒険をする頼もしい竜、敵として立ちのびる怖い竜など、さまざまな竜が登場しています。あなたのお気に入り作品はどれですか？



「たつのこたろう」松谷みよ子（講談社）

貧しい村に生まれてしまったために食べるものがなく・・・みんなで分け合わなければいけない「いwana」を3匹とも食べてしまったことで龍になってしまった母を探す太郎の冒険物語。



「りゅうのめのなみだ」浜田広介（偕成社）

ある山の中に、昔から忌み嫌われている大きなりゅうが住んでいた。でも、見たこともないのになぜ怖がるの？なぜ嫌うの？偏見のないひとりの子どもが、りゅうを想い探しに出かけた…。自ら物事を判断する大切さを描く絵本。



「でんでら竜がでてきたよ」 おのりえん（理論社）

お母さんが友達の結婚式によばれ長崎に行ったので、ありこはお父さんと二人で留守番。ありこはお父さんに長崎にいる「でんでら竜」の卵の絵を描いてあげました。すると夜中に卵の中からでんでら竜の赤ちゃんが生まれ…。



「ドラゴンとおひめさま」平田昭吾（永岡書店）

「ドラゴンとおひめさま」はグリム童話の「ふたりの兄弟」から脚色して、わかりやすく創作したもの。トムとおひめさまの夢と冒険とロマンの物語。



「おなかをすかせたドラゴンとためいきゼリー」 仁科幸子（あすなろ書房）
黒ネコの家に住んでいる友だちのドラゴンは、ためいきのマイナスエネルギーを吸収して、そのマイナスをプラスに変換し、ハッピーなエネルギーに変えることができます。でもためいきって本当にマイナスなものなのでしょうか。



「空からおちてきたドラゴン」 ジェニウス・エリオット（金の星社）

ワニみたいで、ワニじゃない。空をとべるし、まほうがつかえるし、ちょっとばかり、スゴイんだ。ほんのすこしドジだけど、やさしくて、キュウリのサンドイッチが大好きな、ぼくの友だち、おしえてあげる！



「ドラゴンと魔法の水」 メアリー・ポープ・オズボーン（KADOKAWA）

クリスマスの前夜、ジャックとアニーになぞの招待状がとどいた。だが、伝説の王国キャメロットに行くと、そこは闇ののろいによってすっかり荒れはてていた！ふたりは、キャメロットを救うためツリーハウスに乗って、危険な「別世界」へと冒険の旅に出る一。



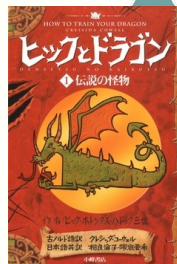
「ドラゴンの正しいつけ方」 あんびるやすこ（岩崎書店）

おばさんのペットを預かることになったシルク。なんとそれは、ドラゴンのあかちゃん「ピンキー」でした。はじめは手こずっていたシルクですが、だんだんピンキーの存在は大きくなっていきます。ピンキーのせいで洋服がだいなしになったためきのリリーさんの願いをかなえてあげることに。長い間会わなかった友人に約束したものを渡すために、シルクとナナは一生懸命リフォームします。やがて、ピンキーの帰る日も近づいて…。



「ちび竜と魔法の実」富安陽子（偕成社）

パパの名前は信田ハジメ。ママの名前はサキ。3人の子供達はユイ、タクミ、モエ。この一家には誰にも知られてはならない重大な秘密が。それは、ママの正体がキツネだということ。そんな信田家に小さな竜が迷い込んできて…。

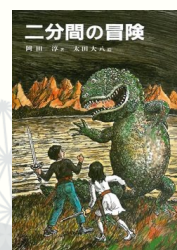


「ヒックとドラゴン」シリーズ クレシッド・コーウェル（小峰書店）

少年バイキング・ヒックは、ドラゴンを観察するのが好きな男の子。そんなヒックが、運命のドラゴン、トゥースレスと出会う。二人は、バイキングの島に現れた巨大な怪物ドラゴンと戦うことに……。ヒックは、一族のみんなの命を救うことができるのか？



「竜退治の騎士になる方法」 岡田淳（偕成社）
その人はジェラルドと名のり「おれは竜退治の騎士やねん」と関西弁でいった。どうみても日本人だった…。「夢」さえすてなければかならず奇跡はおこる。夕暮れの学校でおこったふしぎな事件。



「二分間の冒険」岡田淳（偕成社）

主人公の悟は、学校の校庭で黒ネコと出会います。話をするのできるその黒ネコとやりとりをしているうちに不思議な世界へ。そこは恐ろしい竜が支配する世界で、子どもたちはふた月に一度、竜のいけにえになるために竜の館へ行かなければならないというのです。はたして竜との対決の行方は……！？